

JICAイベントカレンダー 2019 FEBRUARY- MARCH

2月16日(土) 国際化市民フォーラム in TOKYO 多文化共生社会を築くために

●国際化市民フォーラム in TOKYO
～多文化共生社会を築くために～
日時：2019年2月16日(土) 10:00～16:00
会場：なかのZERO西館 3F
東京都中野区中野2-9-7



申し込み、
詳細はこちら

参加費無料。要事前申し込み(2月12日まで)、講座4項目各50名、先着順、定員に達し次第締め切り。
申し込み、詳細は東京都国際交流委員会ウェブサイトへ。

東京都内の外国人登録者数は約54万人。東京都の人口全体の約3.9パーセントを占め、増加・定住化の傾向は今後ますます進んでいくと考えられている。本イベントは、在住外国人と日本人がともに手を携え支え合う、「多文化共生社会」について理解を深めようというもの。子どもの支援やコミュニケーションのあり方など、4項目の講座から希望に合ったものを受講できる。

東京都国際交流委員会



JICA地球ひろば(市ヶ谷)

1月23日(水)～5月24日(金) イノベーションってナニ?展



JICA地球ひろばでは、世界が直面しているさまざまな課題を知り、途上国と私たちとのつながりを体感できる。現在開催中の企画展示のテーマは、私たち一人ひとりが参加できる「イノベーション」。貧困、教育、紛争、環境など、世界の問題解決のために人びとが知恵を絞り、新旧の技術を組み合わせ生み出した驚きのアイデアを紹介している。

●イノベーションってナニ?展
驚きのアイデアとテクノロジー
会期：2019年1月23日(水)～5月24日(金)
10:00～20:00(土・日・祝日は18:00閉館)
休館日：第1・第3日曜日
会場：JICA市ヶ谷ビル 1階 体験ゾーン
東京都新宿区市谷本村町10-5

入場無料。

JICA地球ひろば(市ヶ谷)

2月13日(水) エネルギー問題を考える!

SDGsの理解と実践のために開かれている勉強会「SDGs理解促進シリーズ」の第4弾。今回は、SDGsゴール7「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」を題材に、SDGsのおさらいから、原子力・火力発電の現状、自然エネルギーによる各種発電の概観まで、電力問題について幅広く学べる機会となっている。



●SDGs理解促進シリーズNo.4
エネルギー問題を考える!(電力エネルギー)
日時：2019年2月13日(水) 18:00～21:30(17:50開場)
会場：JICA市ヶ谷ビル2階 セミナールーム201AB
東京都新宿区市谷本村町10-5

高校生以上の一般社会人向け。
参加費無料。要事前申し込み、定員30名。
申し込み、詳細はJICA地球ひろばウェブサイトへ。



食品産業センター(東京)

2月19日(火)

健康経営と 栄養改善ビジネスの 展開に向けて



「健康経営」とは、企業が経営的視点から従業員の健康管理を行い、職場の活力や生産性の向上につなげようという取り組みだ。今回開かれるセミナーは、国際支援としての栄養改善ビジネスの展開に関心を持つ人に向けたもの。途上国での栄養改善と健康経営をどのように関連づけて進めればよいかについて考える。専門家や途上国で事業を行う企業が登壇し、現場の生の声を聞くことができる。

●健康経営と栄養改善ビジネスの展開に向けて
日時：2019年2月19日(火) 13:30～16:30(13:10開場)
会場：TKP赤坂駅カンファレンスセンター
東京都港区赤坂2-14-27
国際新赤坂ビル東館14F ホール14B



申し込み、
詳細はこちら

参加費無料、要事前申し込み、定員100名。
定員になり次第締め切り。
申し込み、詳細は栄養改善事業推進プラットフォームウェブサイトへ。

JICA北海道(札幌) 3月3日(日) アフリカフェスティバル2019 in 札幌



テーマは「アフリカを知ろう、食べよう、遊びつくそう!」。午前の部では、JICA海外協力隊でアフリカに派遣された経験を持ち、今も仕事で関わり続ける女性たちを招いてトークイベントを開催。協力隊時代の貴重なエピソードや、ここでしか聞けないアフリカの仕事事情が明らかに。午後の部では、音楽や踊りのパフォーマンス、エチオピアのコーヒーセレモニーなど、文化に触れられるコーナーを多数用意し、アフリカを身近に感じられる内容となっている。

●アフリカフェスティバル2019 in 札幌
日時：2019年3月3日(日) 10:00～15:00
会場：リフレサッポロ
北海道札幌市白石区本通16丁目南4-26

申し込み、
詳細はこちら

参加費無料。プログラムの一部は事前申し込みが必要、定員200名。詳細はJICA北海道(札幌)のウェブサイトへ。



青年海外協力協会(名古屋、岐阜)

2月13日(水)、22日(金) 協力隊経験者と語ろう

「協力隊ナビ～協力隊経験者と語ろう～」は、(公社)青年海外協力協会が毎月全国各地で開催している交流会。協力隊の経験者と交流する機会を全国各地で設けることで、青年海外協力隊事業への理解を深め、応募のきっかけが生まれることを目的としている。中部地方では2月中に2回の開催を予定。「そもそも青年海外協力隊って?」といった基礎的なことから、活動内容や途上国の様子、海外で使える日本のお役立ちグッズについてなど、幅広い疑問や相談に答えてくれる。



●愛知県開催
日時：2019年2月13日(水) 18:30～20:30
会場：青年海外協力協会中部支部
愛知県名古屋市中村区椿町17-16 丸元ビル804号室

●岐阜県開催
日時：2019年2月22日(金) 19:00～21:00
会場：NPO法人G-net
岐阜県岐阜市吉野町6-2
プラザビル2階

参加費無料。事前申し込み不要。
「協力隊ナビ」は全国各地で開催中。
詳細は青年海外協力協会ウェブサイトへ。



読者
プレゼント
詳細は
p.38へ



ウイリアム・マカスカス・キル著
千葉敏生訳 みすず書房
3240円(税込)

「効果的な利他主義宣言! 科学的アプローチ」
世界をよりよい場所にする無数の方法のうち、最善なのはどれか? どの問題に今すぐ取り組み、どの問題を先送りすべきなのか? 近年世界に広がる「効果的な利他主義」運動は、確かな証拠と論理によってこのような問いに答えようとするもの。本書はその実践的な入門書だ。
興味深いのは「数で決める」その議論が、ときに私たちの直感を裏切ることだ。たとえば1匹の盲導犬を寄付するのと同じ金額を、途上国で失明に瀕した人の治療に使えば400人以上が救える、あるいは、アメリカで医師になった場合にキャリアを通じて救える命は二人だが、年取の半分を途上国に寄付すれば年間数十人の命を救える、など。
エンカル消費が、寄付が、あるいはキャリアとして慈善活動をするべきか
興味深いさまざまな問いから、影響力のある手段を見極める思考の枠組みを示した本書は、善いことをしたいと願うすべての人にとって必読の冊。

「効果的な利他主義宣言! 科学的アプローチ」
世界をよりよい場所にする無数の方法のうち、最善なのはどれか? どの問題に今すぐ取り組み、どの問題を先送りすべきなのか? 近年世界に広がる「効果的な利他主義」運動は、確かな証拠と論理によってこのような問いに答えようとするもの。本書はその実践的な入門書だ。
興味深いのは「数で決める」その議論が、ときに私たちの直感を裏切ることだ。たとえば1匹の盲導犬を寄付するのと同じ金額を、途上国で失明に瀕した人の治療に使えば400人以上が救える、あるいは、アメリカで医師になった場合にキャリアを通じて救える命は二人だが、年取の半分を途上国に寄付すれば年間数十人の命を救える、など。
エンカル消費が、寄付が、あるいはキャリアとして慈善活動をするべきか
興味深いさまざまな問いから、影響力のある手段を見極める思考の枠組みを示した本書は、善いことをしたいと願うすべての人にとって必読の冊。

「効果的な利他主義宣言! 科学的アプローチ」
世界をよりよい場所にする無数の方法のうち、最善なのはどれか? どの問題に今すぐ取り組み、どの問題を先送りすべきなのか? 近年世界に広がる「効果的な利他主義」運動は、確かな証拠と論理によってこのような問いに答えようとするもの。本書はその実践的な入門書だ。
興味深いのは「数で決める」その議論が、ときに私たちの直感を裏切ることだ。たとえば1匹の盲導犬を寄付するのと同じ金額を、途上国で失明に瀕した人の治療に使えば400人以上が救える、あるいは、アメリカで医師になった場合にキャリアを通じて救える命は二人だが、年取の半分を途上国に寄付すれば年間数十人の命を救える、など。
エンカル消費が、寄付が、あるいはキャリアとして慈善活動をするべきか
興味深いさまざまな問いから、影響力のある手段を見極める思考の枠組みを示した本書は、善いことをしたいと願うすべての人にとって必読の冊。

「効果的な利他主義宣言! 科学的アプローチ」

BOOK

パチオン
本の
新着情報